

施工技術開発支援

工事工程表策定業務

仮設計画策定業務

設計
V
施工

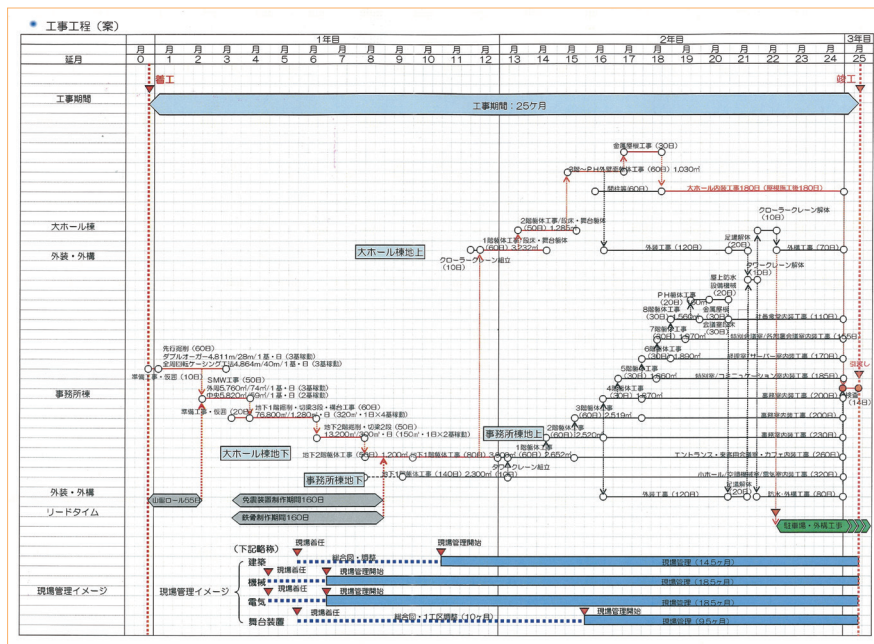
1 | 工事工程表策定業務

[1]——工程表策定

計画初期で建物ボリュームがある程度決まった段階での概略工事工程立案から、設計段階で構法(構造形式、杭等)が決まった段階での工程表策定まで幅広く対応します。

[2]——工程短縮検討

工程表をレビューし、工程内容の妥当性を検討します。必要に応じ、工事内容・順序、歩掛(作業手間・作業日数)を条件に合わせて見直し、工程短縮が可能か否かの検討を行います。



工程表策定例[サンプルイメージ]

2 | 仮設計画策定業務

施工実施の可能性、工程計画、コスト計画の精度を高めるため、設計段階で仮設計画検討が必要となります。

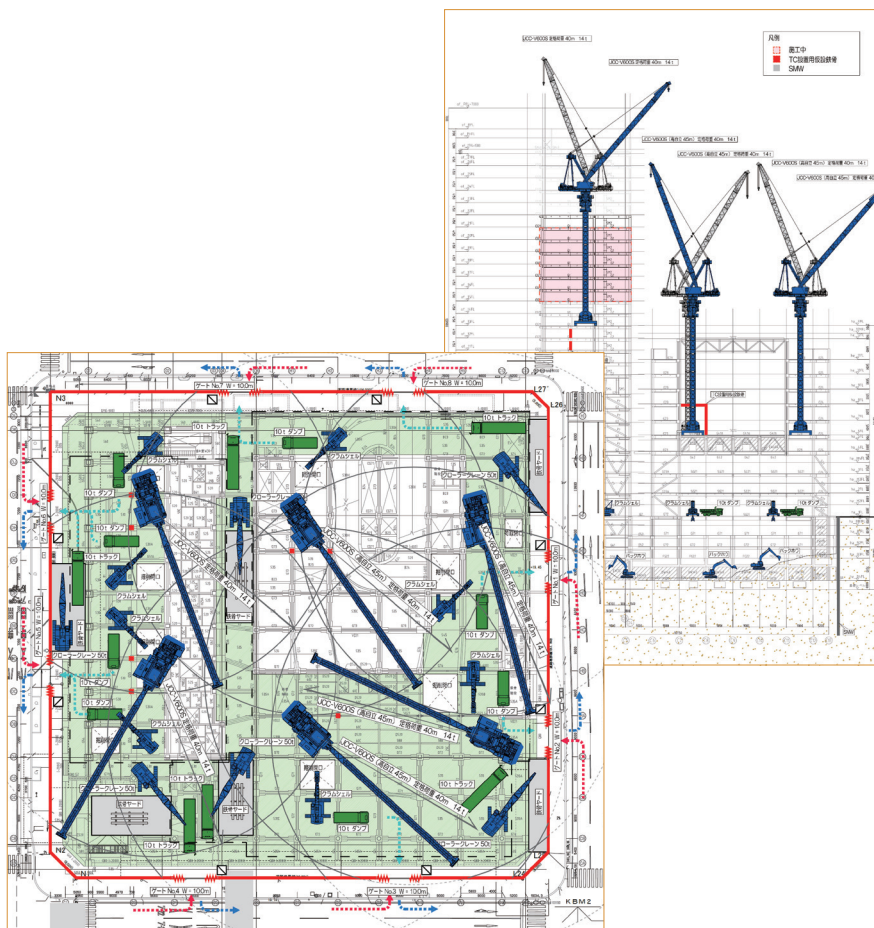
なお、実際の施工時における仮設計画は、決定した施工者にて作成するものを採用することになります。

[1]——仮設計画図策定

設計段階で計画敷地の形状、道路付け、周辺環境等の特性を考慮した仮設計画図を策定します。

[2]——施工計画立案

設計段階で、山留計画から躯体構築、仕上げ工事、外構、各種検査に至るまで幅広い工種の概略施工計画を立案し、根拠を明確にして、工程計画、コスト計画の精度を高めます。



総合仮設計画策定例[サンプルイメージ]